

事業所名

社会福祉法人 幸生会
障害児通所 児童発達支援 ひまわり

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

7 日

法人（事業所）理念		利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立った福祉サービスと保健医療サービスを提供します。利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。利用者の持つ能力に応じて自立した日常生活を営むことができる支援をします。地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域との交流に努め、地域の福祉サービスの拠点を目指します。							
支援方針		1) 障害のある児童が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応できるよう、児童の身体及び精神の状況、並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行う 2) 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める							
営業時間		8 時	00 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	児童一人一人の密な観察を行いながら、児童の状態及び状況を十分に把握することで体調の変化に気づき（早期発見）と看護・医療的ケアの充実を図る。在宅でのADLの機能維持・向上に繋げる。家庭または事業所での様子について連絡帳を活用し、情報交換を行いながら安定した生活が送れるように情報の共有を図る。							
	運動・感覚	ストレッチ等にて色々な姿勢・ポジショニングの促しにて体を動かす機会をもつ。日中活動を通して触覚・聴覚・視覚・嗅覚への感覚刺激を取り入れることで経験を増やす。個別・集団活動等を通して児童の持っている能力を引き出し、機能維持・向上に繋げていく。							
	認知・行動	個々の児童に対する認知力の情報収集と把握。多職種からの様々なアプローチを行い、経験値の幅を広げていけるよう支援する。また経験を増やししながら、認知力を高めることが出来るよう支援する。場面に応じた認知力と行動力を身に着ける。							
	言語コミュニケーション	個々の能力に合わせた声かけやスキンシップを行い、他者との関わりを通して感情表出・発語に繋げていく。声掛けと同時に物の提示や選択（イエス・ノー）に繋がる場面を設定し、児童の特性に応じた意思決定支援を行う。							
	人間関係社会性	他部署スタッフとの関わり・施設外活動時の地域の方々とのふれあい等を通し社会交流の機会を持つ。就学準備にむけて社会性を学ぶ為の個別支援の充実							
家族支援		日常の様子を随時共有し、家族からの意見や要望を聞きながら支援を行っていく。またご家族の困りごとや悩み等に気づき可能な限りサポートしていく。				移行支援		本人・家族・相談支援事業所・保育園等の連携を図り、児童のニーズに合った生活が送れるようステップアップを視野に入れながら、サポートしていく。就学に向けた関係機関との連携・情報伝達を行う。	
地域支援・地域連携		施設外活動等を通し、地域交流を行い社会参加を図る。関係機関との連携・情報の共有。				職員の質の向上		施設内外の研修及び専門職研修の内容をスタッフへ伝達し共有しながら支援を行う。不適切接遇に関する疑問点はタイムリーに動き、解決に繋げて行く。	
主な行事等		施設外活動（唐比ふれあい牧場・県立諫早公園・千々石展望所・カステラセンター・なかよし村）・園芸作業（サツマイモ・玉ねぎ・チューリップ・ひまわり・百日草） こどもの日(5月)・七夕(7月)・夏祭り(8月)・クリスマス(12月)・書初め(1月)・成人を祝う会(1月)・節分(豆まき2月)・雛祭り(3月)							